



北集落(かやぶきの里)について

北集落は平成5年(1993年)12月8日に、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。江戸時代より約50戸の農家が維持されてきました。現在かやぶき家屋は38棟(トタン覆い3棟を含む)あり、住居、店舗、民宿、資料館として使用されています。これらは約150年~200年前(最古は220年前)に建てられたもので、北山型の中に分類されています。屋根は入母屋造りで、主屋は南向き、由良川の流れに平行するように配置され、家と家の間は生け垣などで囲わない開放性が大きな特徴です。そして62基の放水銃が設置され、万が一の火災に備えています。農山村の原風景を守るため、保存会を中心に保存活動に取り組んでいます。



春*美山川(由良川)と桜並木



夏*立葵と美山民俗資料館



秋*茅場で刈り取った茅を干す



冬*つららが下がった資料館の軒

見学のご案内

●開館時間・休館日 *季節により変動します。

① 4月～11月 9:00～17:00 無休
12月～3月 10:00～16:00 月曜日休館
*年末年始は休館いたします。

●入館料

	大人	幼児・小・中学生
個人	300円	無料
団体(15名以上)	250円	無料

●アクセス・駐車場

*駐車場について、一般の方は府道沿いの集落指定駐車場をお願いします。
*歩行が困難な方については、資料館横の小駐車場をご利用下さい。



*お車で…①京都市内→国道9号→京都縦貫自動車道・沓掛IC→園部IC→府道19号→府道38号→かやぶきの里《約90分》

②京都市内→国道162号(周山街道)→府道38号→かやぶきの里《約90分》

③京都縦貫自動車道・丹波波わちIC→国道27号→府道12号→府道38号→かやぶきの里《約40分》

④小浜方面より国道162号→府道38号→かやぶきの里《約90分》

*電車で…京都駅→JR嵯峨野線(山陰本線)→園部駅または日吉駅《約50分》

→南丹市営バスまたはタクシー→かやぶきの里《約60分》

*市営バスは本数が少ないので、お帰りの時間等ご注意を願います。

美山民俗資料館

〒601-0712 京都府南丹市美山町北中牧4番地

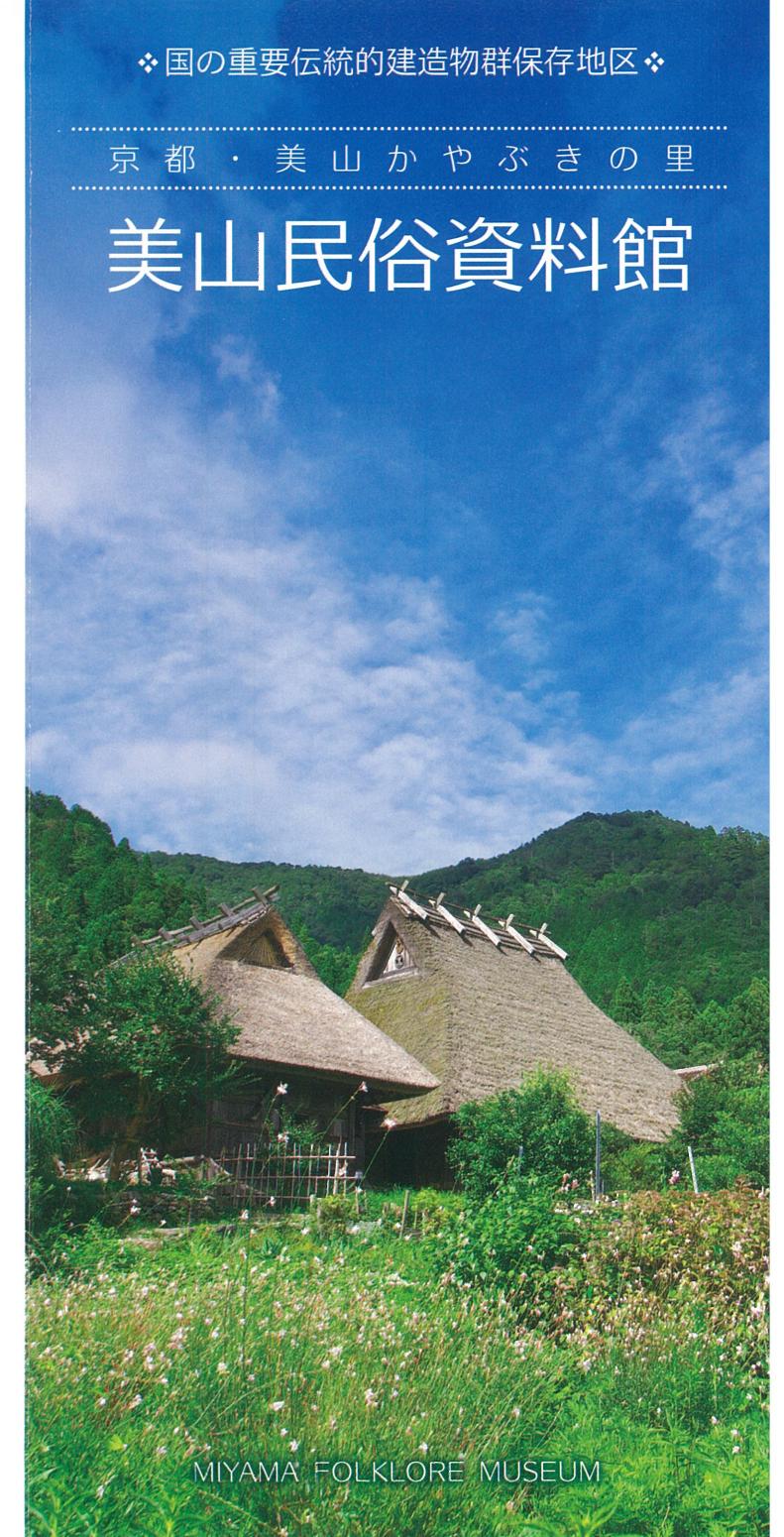
TEL・FAX 0771-77-0587

2017年12月 2版

♦国の重要伝統的建造物群保存地区♦

京都・美山かやぶきの里

美山民俗資料館



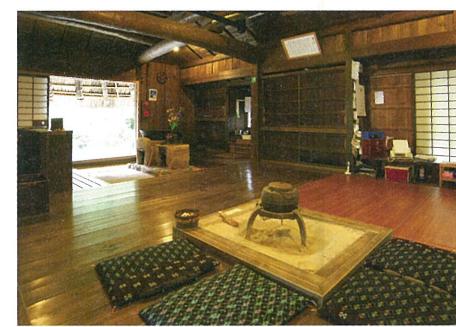
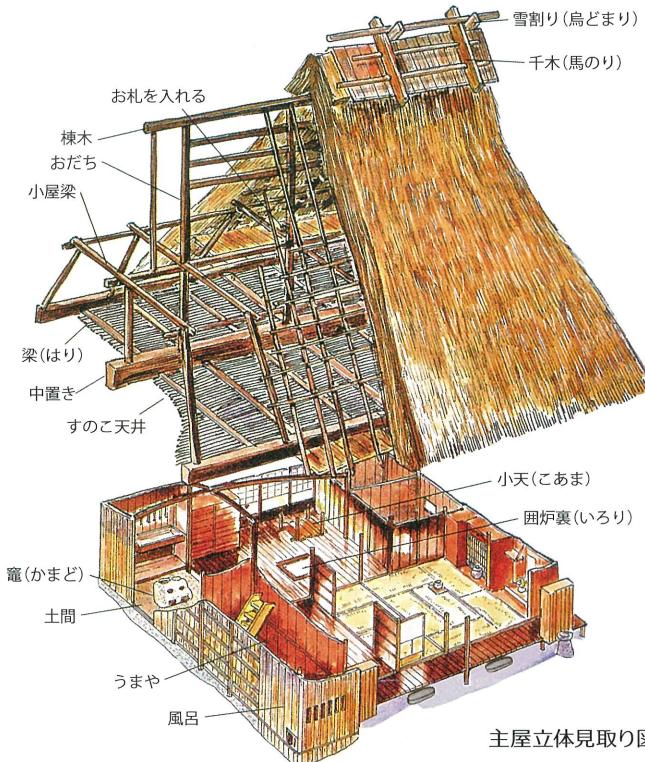
MIYAMA FOLKLORE MUSEUM



美山民俗資料館

当館は主屋、納屋、倉の3棟で構成されています。約200年前(江戸時代後期)に建築された農家住宅を譲り受け、平成5年(1993年)から資料館として活用してきました。この地方における北山型農家住宅の特徴を色濃く残していました。

しかし、不幸にして平成12年(2000年)5月に主屋と納屋を焼失しました。幸い詳細な記録が残されていたので、当初の建築の姿を忠実に復元する事が出来ました。先人の知恵と工夫と汗の結晶ともいえる民家です。展示物は当地区と近隣の家々から寄贈を受けたもので、その昔に使っていたものばかりです。



【台所】調理をしたり食事をとる場として、家族団らんの部屋でした。囲炉裏や、土間にかまど、唐臼があります。

■主屋(母屋) 生活体験棟

屋根は入母屋造り(平面積約30坪)、入口は妻入りで、間取りはくい違いの四間取りです。壁はすべて板張り、建具も明かり障子以外は板製です。畳は座敷と中の間の二間だけ、土間は狭く土を盛り上げた「あげにわ」です。厩(うまや)には牛を一頭飼っていました。

■納屋(小屋) 生産具展示棟

屋根は入母屋造り(平面積約10坪)で仕事場、物置、外便所、農具置き場に仕切られています。仕事場の展示物は杣人の村としての成り立ちから、山仕事の道具類を中心に、農道具、藁製品、竹製品を展示しています。



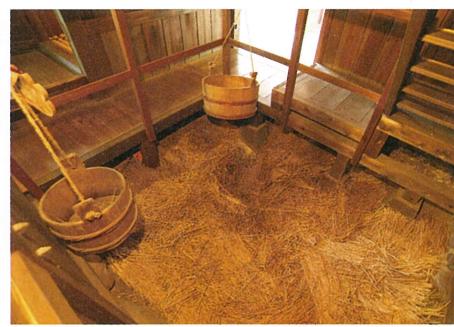
【座敷】仏壇や床の間があり、冠婚葬祭や客間として使われていました。

■倉(土蔵) 生活具展示棟

1階には文楽の淨瑠璃見台および衣装、生活用具を展示しています。2階には焼き物類、村の昔を語る文書類を展示しています。

■屋根裏(天)

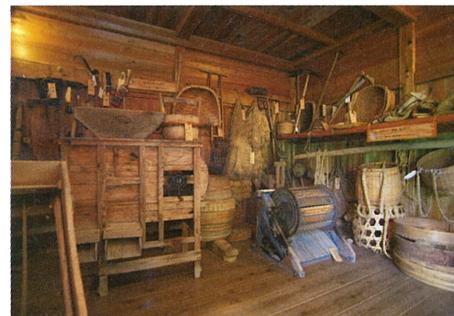
小屋組、かやぶき屋根の葺き方等を目の当たりに見ていただけます。厩から昇り降り出来るように、一部を改造しています。



【厩(うまや)】ここで農耕用の牛を飼っていました。大切な家族の一員でした。※手すり等は見学用に設置しています。



【屋根裏】本来床は無く、竹を並べたすのこ天井でした。昔は茅や藁を収納していました。



【納屋】農林業に使う道具を収納していました。また、様々な作業をする場でもありました。



【倉】夏でも低温に保てることや、ネズミや火災から守るために、米などの穀物、貴重品等を保管していました。

